



2015年3月期 第1四半期決算説明資料



ONOKEN

小野建株式会社



CONTENTS

1. 2015年3月期1Q 決算の総括
2. 品種別販売状況
3. 連結損益計算書、連結販売管理費、連結貸借対照表
4. 設備投資について、2015年3月期の動向

将来の見通しに関する注意事項

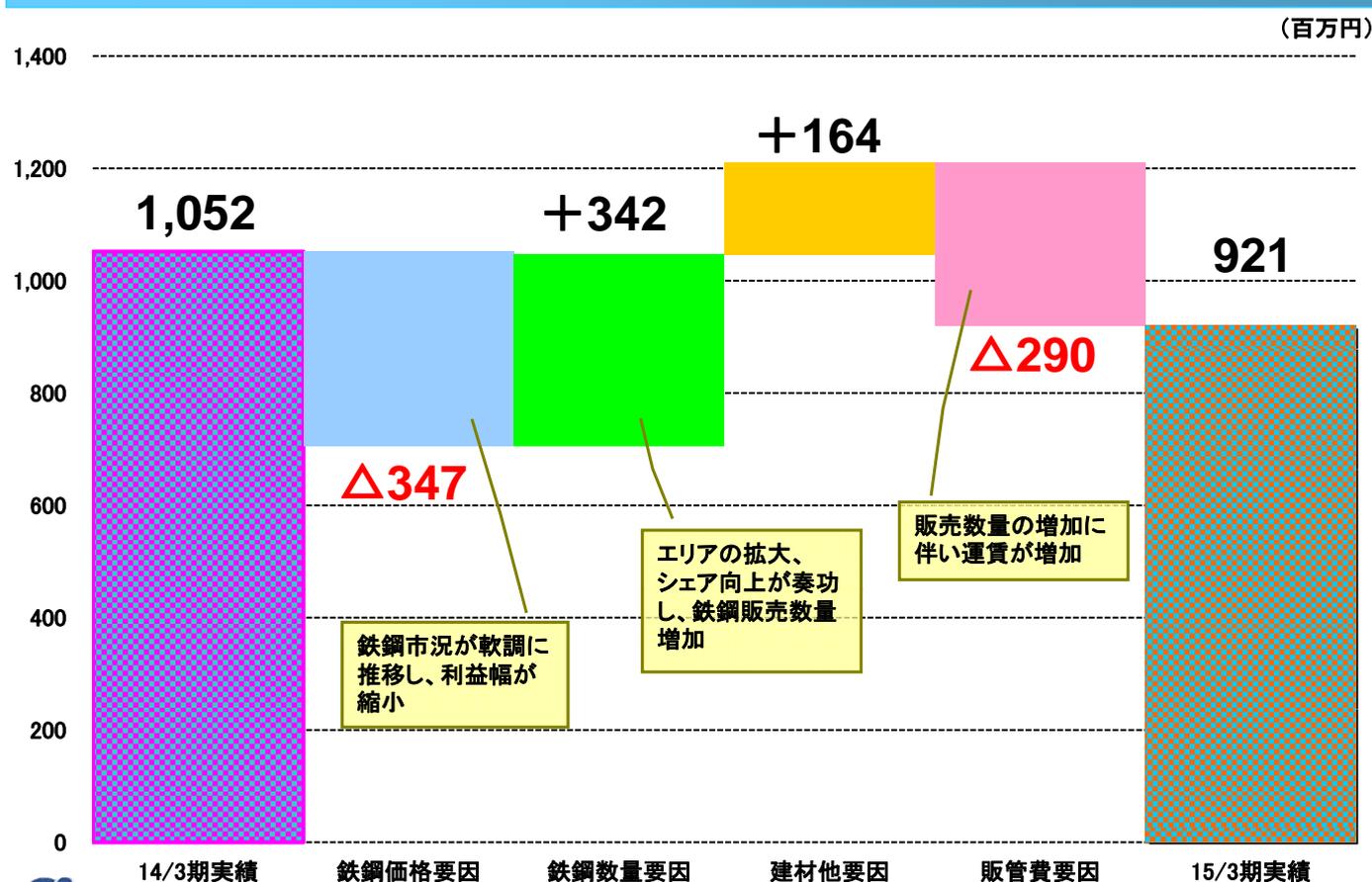
資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2015年3月期1Q総括 前期および計画との差異

(百万円・%)

	14/3期 1Q実績	15/3期 1Q計画	15/3期 1Q実績	計画比		前年比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	35,055	43,180	43,547	+ 367	+ 0.8%	+ 8,492	+ 24.2%
売上総利益	3,094	3,405	3,253	△ 152	△ 4.5%	+ 159	+ 5.1%
営業利益	1,052	1,210	921	△ 289	△ 23.9%	△ 131	△ 12.5%
経常利益	1,097	1,246	967	△ 279	△ 22.4%	△ 130	△ 11.9%
当期純利益	651	793	669	△ 124	△ 15.6%	+ 18	+ 2.8%

2015年3月期1Q総括 営業利益/前年同期比変化要因



品種別販売状況(小野建単体)

						(百万円・千トン・%)	
		14/3 1Q実績	15/3 1Q計画	15/3 1Q実績	前年比増減率	15/3上期計画	15/3 通期計画
鉄鋼商品販売事業	鋼板類	8,984	12,025	13,239	+ 47.4%	23,791	47,392
	(販売数量)	131	169	179	+ 36.6%	334	664
	売上総利益	789	830	913	+ 15.7%	1,656	3,313
	利益率	8.8	6.9	6.9	△ 1.9P	7.0	7.0
	条鋼類	12,001	14,295	13,974	+ 16.4%	28,853	59,430
	(販売数量)	139	159	148	+ 6.5%	322	666
	売上総利益	1,299	1,460	1,147	△ 11.7%	2,945	6,056
	利益率	10.8	10.2	8.2	△ 2.6P	10.2	10.2
	丸鋼類	5,963	6,317	6,041	+ 1.3%	13,111	26,883
	(販売数量)	94	94	83	△ 11.7%	195	402
	売上総利益	306	329	254	△ 17.0%	684	1,405
	利益率	5.1	5.2	4.2	△ 0.9P	5.2	5.2
小計	売上高	26,948	32,637	33,254	+ 23.4%	65,755	133,705
	(販売数量)	364	422	410	+ 12.6%	851	1,732
	売上総利益	2,394	2,619	2,314	△ 3.3%	5,285	10,774
	利益率	8.9	8.0	7.0	△ 1.9P	8.0	8.1

品種別販売状況(小野建単体)

						(百万円・千トン・%)	
		14/3 1Q実績	15/3 1Q計画	15/3 1Q実績	前年比増減率	15/3上期計画	15/3 通期計画
建材商品販売事業	建設機材商品	2,935	2,992	3,008	+ 2.5%	6,545	15,782
	売上総利益	141	142	171	+ 21.3%	315	746
	利益率	4.8	4.7	5.7	+ 0.9P	4.8	4.7
工事請負事業	建設機材工事	2,856	4,630	4,260	+ 49.2%	11,700	23,430
	売上総利益	174	254	282	+ 62.1%	670	1,356
	利益率	6.1	5.5	6.6	+ 0.5P	5.7	5.8
賃貸等事業 不動産	その他事業収入	182	165	174	△ 4.4%	324	642
	売上総利益	65	91	91	+ 40.0%	176	345
合計	売上高	32,921	40,424	40,696	+ 23.6%	84,324	173,559
	売上総利益	2,774	3,106	2,858	+ 3.0%	6,446	13,221

連結損益計算書

(百万円)

	14/3 1Q実績	15/3 1Q計画	15/3 1Q実績	前年比増減率	15/3 通期計画	対前期増減率
売上高	35,055	43,180	43,547	+ 24.2%	186,780	+ 4.5%
売上原価	31,961	39,775	40,294	+ 26.1%	172,308	+ 4.7%
売上総利益	3,094	3,405	3,253	+ 5.1%	14,472	+ 2.7%
販売費及び一般管理費	2,041	2,195	2,332	+ 14.3%	9,090	△ 2.3%
営業利益	1,052	1,210	921	△ 12.5%	5,382	+ 12.6%
営業外収益	62	54	76	+ 22.6%	203	△ 31.9%
営業外費用	18	18	30	+ 66.7%	82	△ 12.8%
経常利益	1,097	1,246	967	△ 11.9%	5,503	+ 10.5%
特別利益	—	—	103	—	65	△ 87.5
特別損失	12	—	1	△ 91.7%	—	—
税引前当期純利益	1,084	1,246	1,069	△ 1.4%	5,568	+ 1.7%
法人税・住民税及び事業税	432	453	400	△ 7.4%	2,020	+ 19.4%
当期純利益	651	793	669	+ 2.8%	3,548	△ 5.6%



7

連結貸借対照表

(百万円)

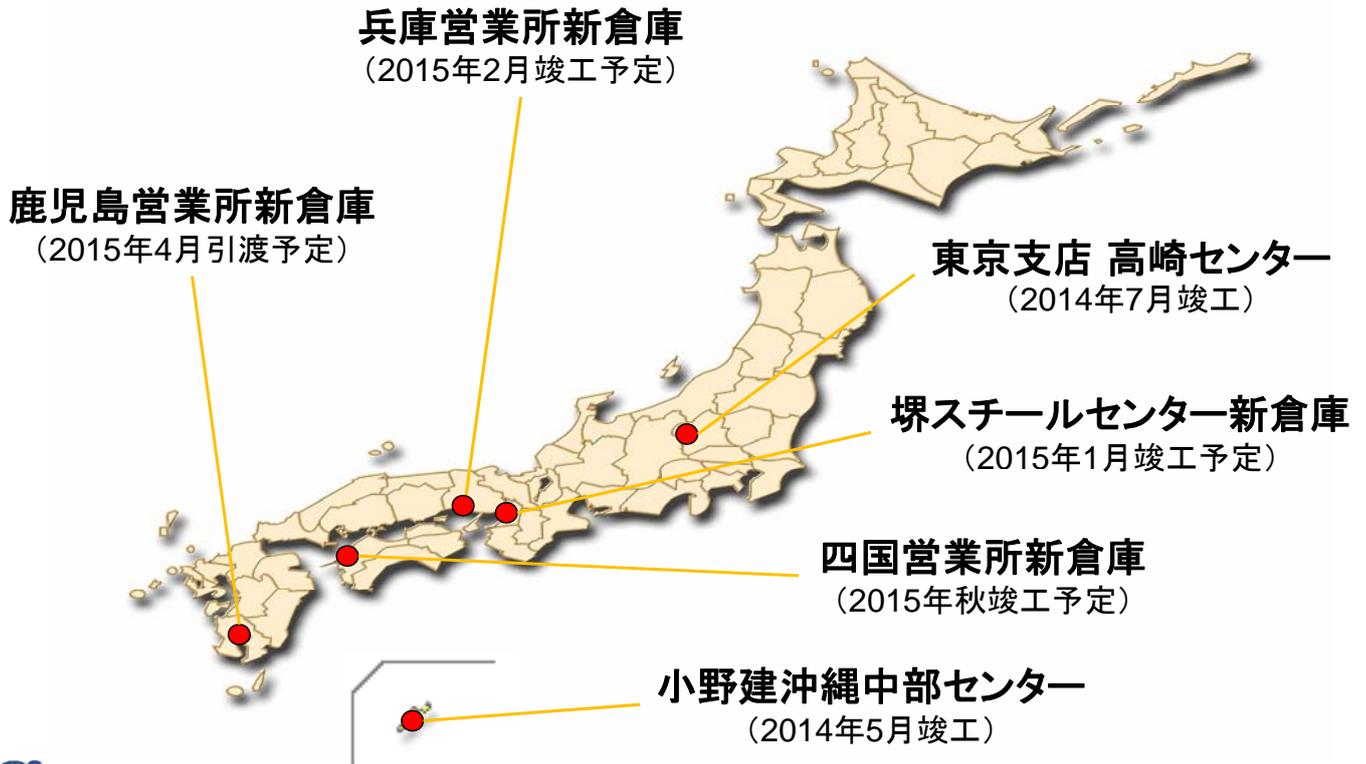
※各詳細項目は主要項目のみを記載しております

	13/9 実績	14/3 実績	14/6 実績
流動資産	69,246	82,604	85,112
現金及び預金	1,874	2,424	4,031
受取手形及び売掛金	49,111	60,555	55,923
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	11,964	16,106	19,418
固定資産	30,797	36,603	38,410
有形固定資産	29,378	34,904	36,732
投資その他の資産	1,330	1,629	1,622
資産合計	100,044	119,207	123,522
流動負債	48,387	60,513	64,588
支払手形及び買掛金	28,981	35,925	31,961
短期借入金	14,200	19,800	27,773
一年以内返済予定長期借入	24	16	10
固定負債	1,412	6,438	6,524
社債	—	5,024	5,022
長期借入金	4	—	—
退職給付引当金	571	—	—
負債合計	49,799	66,952	71,113
株主資本	49,859	51,859	52,028
資本金	3,780	3,780	3,780
純資産合計	50,244	52,255	52,409
負債・純資産合計	100,044	119,207	123,522

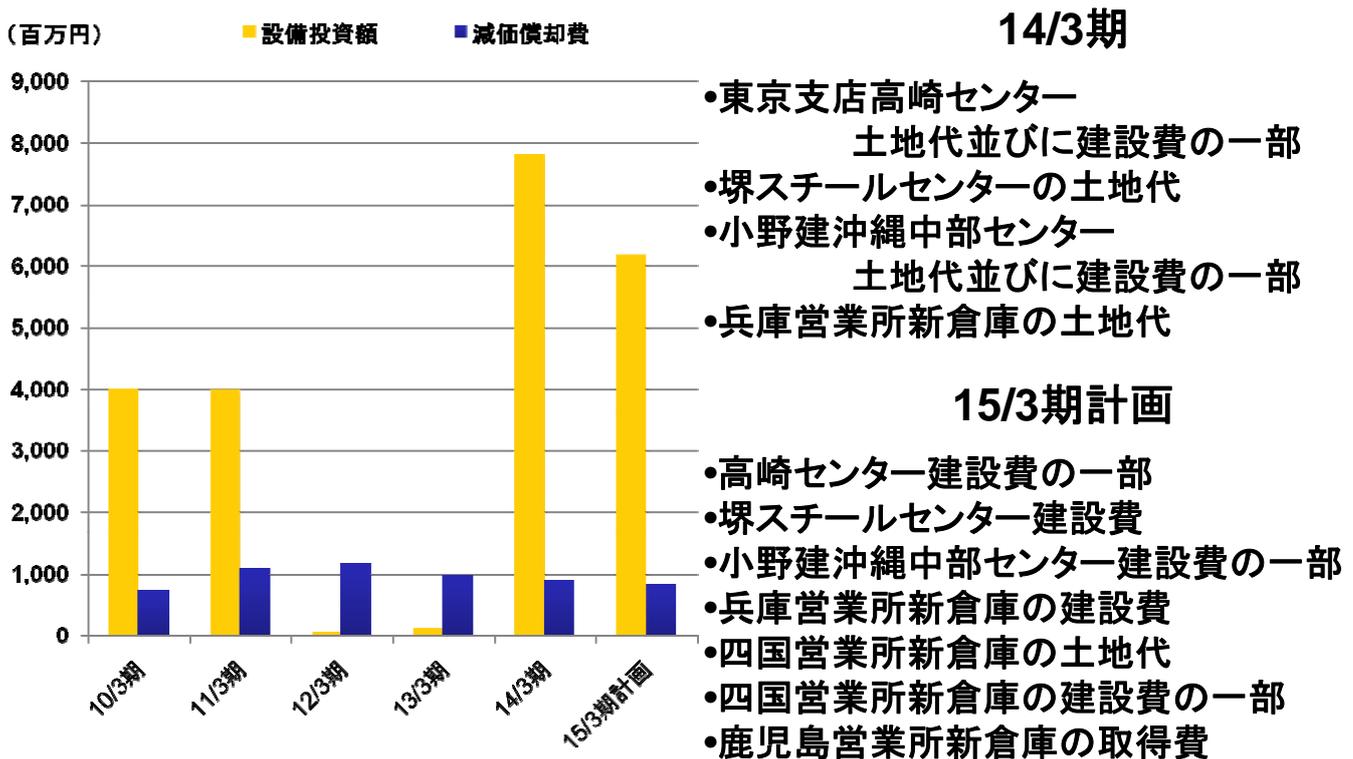


8

設備投資計画ストックヤード



通期設備投資計画



設備投資について

【今後の戦略として】

- 沖縄のストックヤード増設(2014年5月竣工)
 - － 設備投資額 約7億円
 - － 土地面積 6,915.00 m²
 - － 建屋面積 4,030.00 m²
 - － 南部地区の既存ヤードと連携し、中・北部地区の取引先へのサービス向上
商品種の拡大により取引先のニーズに細かく応え、短納期を実現
- 東京支店高崎センター(2014年7月竣工)
 - － 設備投資額 約13億円
 - － 土地面積 9,337.00 m²
 - － 建屋面積 6,580.00 m²
 - － 既存顧客へのデリバリーの迅速化を図り、利便性を向上させる
浦安センター、川崎センターと合わせて
東日本エリアの物流基地としての役割を強化

設備投資について

- 大阪府堺市にある大型ストックヤードの拡大(2015年1月竣工予定)
 - － 設備投資額 約100億円
 - － 土地面積 42,800 m²
 - － 建屋面積 27,713 m²
 - － 中国、四国、近畿、東海、北陸など関西圏一円に商品を供給する中核拠点
堺スチールセンターの拡大(建屋面積 14,193.10 m²⇒ 41,906.10 m²)により
西日本最大の物流拠点へ
- 兵庫営業所新倉庫(2015年2月竣工予定)
 - － 設備投資額 21億円
 - － 土地面積 21,598 m²
 - － 建屋面積 12,798 m²
 - － 兵庫・岡山エリアの取引先へのサービス向上
福山営業所とのシナジー効果を発揮

設備投資について

- 鹿児島営業所新倉庫(2015年4月引渡予定)
 - － 設備投資額 約11億円
 - － 土地面積 19,437 m²
 - － 建屋面積 8,037 m²
 - － 岸壁付きの倉庫を取得することにより仕入れコストの低減を図る
熊本支店、福岡支店と連携して九州西側のさらなるサービス向上を目指す

- 四国営業所新倉庫(2015年秋竣工予定)
 - － 設備投資額 約15億円
 - － 土地面積 19,234 m²
 - － 建屋面積 約10,000 m²
 - － 大阪支店と連携して、四国エリア全体のサービス向上を図る

2015年3月期の動向

- 鉄鋼市況の動向
 - － 昨年に引き続きアベノミクスの効果もあり、需要は堅調に推移し市況も長期的には上昇傾向が継続見込み。
 - － ただし、足元の市況は、新規引き合いの低迷から膠着状況。

- 需要の動向
 - － 東京オリンピック効果もあり、公共・民間共に需要は堅調に推移。ただし、急激な需要の増加により、職人不足や価格の上昇が起こり、工事の遅延が危惧される。
 - － 設備投資案件も徐々に拡大。